

令和 5 年度

大阪府学力検査問題  
( 一般入学者選抜 )数 学  
〔 C 問題 〕

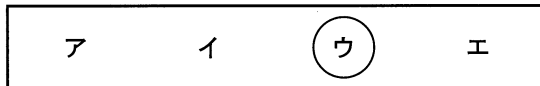
注 意

1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。

2 答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。

- ・答えとして記号を選ぶ問題は、下の【解答例】にならい、すべて**解答用紙の記号**を○で囲みなさい。また、答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消しなさい。

【解答例】



- ・答えが根号を含む数になる場合は、根号の中をできるだけ小さい自然数にしなさい。

解答用紙の**採点者記入欄**には、何も書いてはいけません。

3 問題は、中の用紙のA面に1，B面に2・3があります。

4 「開始」の合図で、まず、**解答用紙**に受験番号を書きなさい。

5 「終了」の合図で、すぐ**鉛筆**を置きなさい。

1 次の問いに答えなさい。

(1)  $-a \times (2ab)^2 \div \left(-\frac{2}{3}ab^2\right)$  を計算しなさい。

(2)  $\frac{6+\sqrt{8}}{\sqrt{2}} + (2-\sqrt{2})^2$  を計算しなさい。

(3)  $a$  を 0 でない定数とする。  $x$  の二次方程式  $ax^2 + 4x - 7a - 16 = 0$  の一つの解が  $x = 3$  であるとき、  $a$  の値を求めなさい。また、この方程式のもう一つの解を求めなさい。

(4)  $a, b, c, d$  を定数とし、  $a > 0, b < 0, c < d$  とする。関数  $y = ax^2$  と関数  $y = bx + 1$  について、  $x$  の変域が  $-3 \leq x \leq 1$  のときの  $y$  の変域がともに  $c \leq y \leq d$  であるとき、  $a, b$  の値をそれぞれ求めなさい。

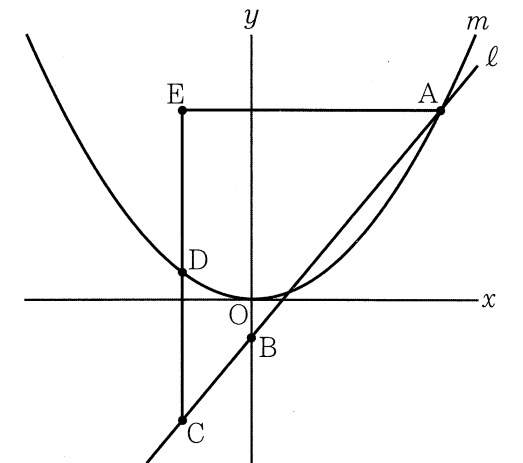
(5)  $n$  を自然数とする。  $n \leq \sqrt{x} \leq n + 1$  を満たす自然数  $x$  の個数が 100 であるときの  $n$  の値を求めなさい。

(6) 二つの箱 A, B がある。箱 A には 1 から 4 までの自然数が書いてある 4 枚のカード  $\boxed{1}, \boxed{2}, \boxed{3}, \boxed{4}$  が入っており、箱 B には 4 から 8 までの自然数が書いてある 5 枚のカード  $\boxed{4}, \boxed{5}, \boxed{6}, \boxed{7}, \boxed{8}$  が入っている。A, B それぞれの箱から同時にカードを 1 枚ずつ取り出し、箱 A から取り出したカードに書いてある数を  $a$ 、箱 B から取り出したカードに書いてある数を  $b$  とし、次のきまりにしたがって得点を決めるとき、得点が偶数である確率はいくらですか。A, B それぞれの箱において、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとして答えなさい。

きまり：  $a$  と  $b$  の最大公約数が 1 の場合は  $a + b$  の値を得点とし、  $a$  と  $b$  の最大公約数が 1 以外の場合には  $\sqrt{2ab}$  の値を得点とする。

(7)  $a$  を一の位の数で 0 でない 2 けたの自然数とし、  $b$  を  $a$  の十の位の数と一の位の数とを入れかえてできる自然数とすると、  $\frac{b^2 - a^2}{99}$  の値が 24 である  $a$  の値をすべて求めなさい。

(8) 右図において、  $m$  は関数  $y = \frac{1}{5}x^2$  のグラフを表す。A は  $m$  上の点であり、その  $x$  座標は 5 である。B は  $y$  軸上の点であり、その  $y$  座標は  $-1$  である。  $l$  は、2 点 A, B を通る直線である。C は  $l$  上の点であり、その  $x$  座標は負である。C の  $x$  座標を  $t$  とし、  $t < 0$  とする。D は、C を通り  $y$  軸に平行な直線と  $m$  との交点である。E は、A を通り  $x$  軸に平行な直線と直線 DC との交点である。線分 DC の長さが線分 EA の長さより 3 cm 短いときの  $t$  の値を求めなさい。答えを求める過程がわかるように、途中の式を含めた求め方も説明すること。ただし、原点 O から点  $(1, 0)$  までの距離、原点 O から点  $(0, 1)$  までの距離はそれぞれ 1 cm であるとする。



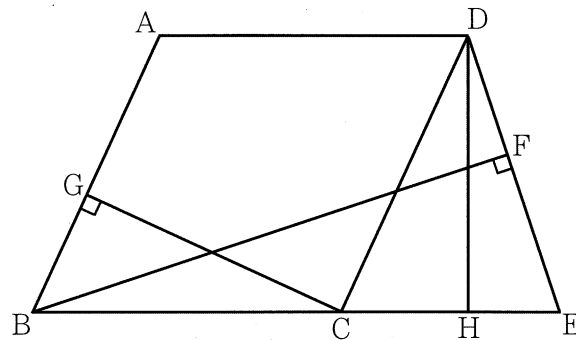
2 図 I, 図 II において, 四角形 ABCD は内角  $\angle ABC$  が鋭角のひし形であり,  $AB = 7\text{ cm}$  である。  $\triangle DCE$  は鋭角三角形であり, E は直線 BC 上にある。 F は辺 DE 上において D, E と異なる点であり, B と F とを結んでできる線分 BF は辺 DE に垂直である。 G は, C から辺 AB にひいた垂線と辺 AB との交点である。 H は辺 CE 上の点であり,  $CH = GB$  である。 D と H とを結ぶ。

次の問いに答えなさい。

(1) 図 I において,

① 四角形 ABCD の対角線 AC の長さを  $a\text{ cm}$ , 四角形 ABCD の面積を  $S\text{ cm}^2$  とするとき, 四角形 ABCD の対角線 BD の長さを  $a, S$  を用いて表しなさい。

図 I

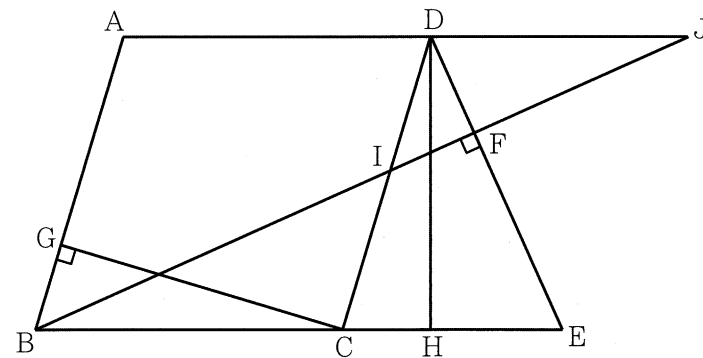


②  $\triangle DHE \sim \triangle BFE$  であることを証明しなさい。

(2) 図 II において,  $GB = 2\text{ cm}$ ,

$HE = 3\text{ cm}$  である。 I は, 線分 BF と辺 DC との交点である。 J は, 直線 BF と直線 AD との交点である。

図 II



① 線分 FE の長さを求めなさい。

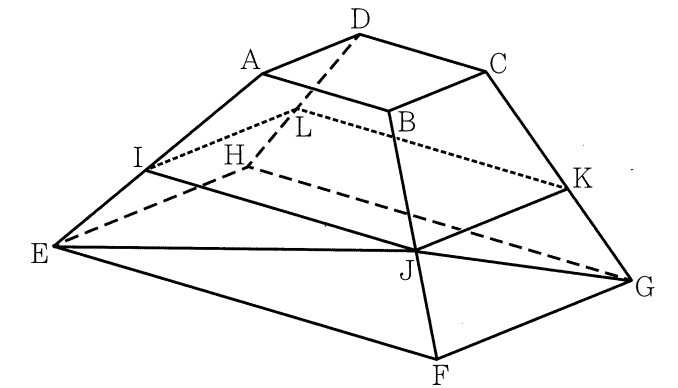
② 線分 IJ の長さを求めなさい。

3 図 I, 図 II において, 立体  $ABCD - EFGH$  は六つの平面で囲まれてできた立体である。四角形 ABCD は, 1 辺の長さが  $2\text{ cm}$  の正方形である。四角形 EFGH は,  $EF = 6\text{ cm}$ ,  $FG = 4\text{ cm}$  の長方形である。平面 ABCD と平面 EFGH は平行である。四角形 AEFB は  $AB \parallel EF$  の台形であり,  $AE = BF = 4\text{ cm}$  である。四角形 DHGC  $\equiv$  四角形 AEFB である。四角形 BFGC は  $BC \parallel FG$  の台形である。四角形 AEHD  $\equiv$  四角形 BFGC である。

次の問いに答えなさい。

(1) 図 I において, 四角形 IJKL は長方形であり, I, J, K, L はそれぞれ辺 AE, BF, CG, DH 上にある。このとき,  $AI = BJ = CK = DL$  である。 E と J, G と J とをそれぞれ結ぶ。

図 I



① 次のア~オのうち, 辺 BF とねじれの位置にある辺はどれですか。すべて選び, 記号を  $\bigcirc$  で囲みなさい。

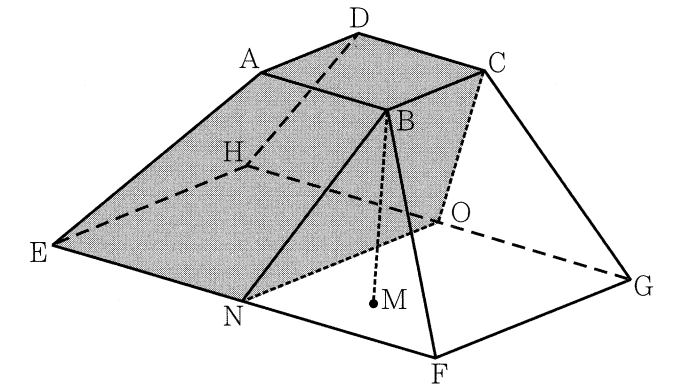
- ア 辺 AB      イ 辺 EH      ウ 辺 CG      エ 辺 GH      オ 辺 DH

②  $\triangle JFG$  の面積は  $\triangle JEF$  の面積の何倍ですか。

③ 四角形 IJKL の周の長さが  $15\text{ cm}$  であるときの辺 JK の長さを求めなさい。

(2) 図 II において, M は B から平面 EFGH にひいた垂線と平面 EFGH との交点である。 N, O は, それぞれ辺 EF, HG の中点である。このとき, 4 点 B, N, O, C は同じ平面上にあり, この 4 点を結んでできる四角形 BNOC は  $BC \parallel NO$  の台形である。

図 II



① 線分 BM の長さを求めなさい。

② 立体  $ABCD - ENOH$  の体積を求めなさい。

令和5年度大阪府学力検査問題  
数学採点資料〔C問題〕

1	(1)	$6a^2$		配点	4	注意事項				
	(2)	$8 - \sqrt{2}$		配点	4	注意事項				
	(3)	$a$ の値	2	もう一つの解 $x =$	-5	配点	5	注意事項		
	(4)	$a$ の値	$\frac{4}{9}$	$b$ の値	-1	配点	5	完答とし、二つとも正しい場合のみ点を与える。		
	(5)	49		配点	6	注意事項				
	(6)	$\frac{7}{20}$		配点	6	注意事項				
	(7)	15 , 57		配点	6	注意事項				
	(8)	(求め方)	<p>A は <math>m</math> 上の点だから <math>A(5, 5)</math>                  2点 A, B を通る直線の傾きは <math>\frac{6}{5}</math> だから、  <math>l</math> の式は <math>y = \frac{6}{5}x - 1</math>                  C は <math>l</math> 上の点だから <math>C(t, \frac{6}{5}t - 1)</math>                  D は <math>m</math> 上の点だから <math>D(t, \frac{1}{5}t^2)</math>                  よって <math>DC = \frac{1}{5}t^2 - \frac{6}{5}t + 1</math> (cm)                  E (<math>t, 5</math>) だから <math>EA = 5 - t</math> (cm)                  線分 DC の長さは線分 EA の長さより 3cm 短いから  <math>\frac{1}{5}t^2 - \frac{6}{5}t + 1 = 5 - t - 3</math>                  これを解くと、<math>t &lt; 0</math> より <math>t = \frac{1 - \sqrt{21}}{2}</math></p>					配点	8	注意事項
$t$ の値		$\frac{1 - \sqrt{21}}{2}$								

44

2	(1)	①	$\frac{2S}{a}$	cm	配点	4	注意事項		
		②	(証明) $\triangle DHE$ と $\triangle BFE$ において $\angle DEH = \angle BEF$ (共通) ..... ㉞ また、 $\triangle DCH$ と $\triangle CBG$ において 仮定より $CH = BG$ ..... ㉟ 四角形 ABCD はひし形だから $DC = CB$ ..... ㊱ $AB \parallel DC$ であり、平行線の同位角は等しいから $\angle DCH = \angle CBG$ ..... ㊲ ㉞, ㉟, ㊱ より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから $\triangle DCH \cong \triangle CBG$ よって $\angle DHC = \angle CGB = 90^\circ$ だから $\angle DHE = 90^\circ$ ..... ㊴ $BF \perp DE$ だから $\angle BFE = 90^\circ$ ..... ㊵ ㊴, ㊵ より $\angle DHE = \angle BFE$ ..... ㊶ ㉞, ㊶ より、2組の角がそれぞれ等しいから $\triangle DHE \sim \triangle BFE$		cm	配点	8	注意事項	部分点を与える。
	(2)	①	$2\sqrt{6}$	cm	配点	4	注意事項		
		②	$\frac{18\sqrt{30}}{13}$	cm	配点	6	注意事項		
						配点	22	注意事項	

3	(1)	①	ア	イ	ウ	エ	オ	配点	4	注意事項	完答とし、三つとも正しい場合のみ点を与える。		
		②			$\frac{\sqrt{5}}{3}$		倍	配点	4	注意事項			
		③			$\frac{19}{6}$		cm	配点	6	注意事項			
	(2)	①			$\sqrt{11}$		cm	配点	4	注意事項			
		②			$\frac{23\sqrt{11}}{3}$		cm <sup>3</sup>	配点	6	注意事項			
											配点	24	注意事項